

アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の4園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033
東町5-1-40
☎042-544-1151



なかがみほいくえん

〒196-0025
朝日町5-4-17
☎042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0002
拝島町4041-1
☎042-545-0156



ミナバもくせいのもり

〒196-0035
もくせいの杜1-2-25
☎042-519-4378



「くじらしま」ではさまざまな支援活動をしています。地域で子育てを行っている方は、どなたでもご参加いただけます。詳細は、右のQRコードより、都度ご確認ください。



【発行】社会福祉法人多摩育児会 〒196-0033 東京都昭島市東町5-1-39 ☎042-519-5597
<http://www.tns.or.jp>

子育て支援
コンテンツ

イベントパーク（行事体験）

園の行事に参加、体験いただけます

デイリーパーク（体験保育）

親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施

ひよこパーク

0から2歳児のお子さまを対象に園庭解放を実施

育児相談（随時受付）

各園にて受付けています。時間をご相談ください

園内見学（随時受付）

各園にて受付けています。時間をご相談ください

一時預かり保育（有料）

地域のお子さま対象です。詳細は各園へお問合せください

多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています！

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ

おうちでできるシリーズ	……02
インタビュー 飛鳥童先生	……04
ほいくの4コマ「ジョウロ」	……05
連載・もっと知りたい「氷山ルリの大航海」	……06

2023 SUMMER

7-9月

モンテッソーリ教育

1 おうちでのごと 『じゅうたんを きれいにする』

モンテッソーリ教育の「日常生活の練習」という分野で掃除や洗濯、動植物のお世話など「環境への配慮」の活動をご紹介します。おうちで、じゅうたんやラグをきれいにする方法を知る中で、道具を使いこなす為の手指の運動の調整や、共同で使う物をきれいにし整えていくことは、社会性に繋がる一助となることでしょう。この活動の興味点は、埃が粘着面に付いて見える所と汚れた面の紙を切る所にあります。お子さんがロールクリーナーの紙を切り取れなかったら、大人が起点を探してあげるなど共同作業でもいいですね。

【やりかた／手順など】

①床にじゅうたんと敷き、用具の入ったカゴを持ってくる。



③ロールクリーナーの紙が汚れたら紙を剥がし、新しいものに替える。汚れた紙は内側に折ってごみ箱へ捨てる。



⑤じゅうたんとを巻き戻す。

②ロールクリーナーのカバーを外し、ロールクリーナーを動かしながら数回に分けて汚れを取っていく。



④ロールクリーナーを新しい紙に替え、カバーをしてカゴに片付ける。



⑥カゴを元の場所に戻す。

夏をたのしむ 1・2・3

おうちでできるシリーズ

Let's start cooking

2 作ってみよう ふりふりシャカシャカ シャーベット



【材料】

- 好きなジュース…200 g
- 好きなフルーツ…大さじ2

【道具】

- 氷…300 g
- 塩…30 g
- チャック付きビニール袋 (大)
- チャック付きビニール袋 (小)
- (厚手のポリ袋でも作ることができます)
- フェイスタオル

①小さいジッパー袋にジュースを入れて袋の口をしっかりと閉じる。

②大きいジッパー袋に氷と塩を入れる。

③②に①を入れて袋の口をしっかりと閉じる。

④ジッパー袋をタオルで包む(氷に塩を加えると袋がとっても冷たくなるので、タオルが必要になります)

⑤3分間頑張ってシャカシャカ振ると徐々に固まってきます。ひとりで振ると疲れてしまうので、交代しながら順番に振るのがおすすめ。

⑥お好みの固さになったらシャーベットを器に盛り付け、好きなフルーツをトッピングして完成。

ジュースの代わりに牛乳200g、砂糖30～50gで作るとミルクシャーベットも作れます。優しい甘さでおいしくです。※砂糖は入れなくても作れます。



3 暑い夏に涼しさを感じよう! 絵本「こかげで ほっ♪」

作・絵：みなみ じゅんこ (出版社：ひさかたチャイルド)

みなみ じゅんこ先生の絵本はページを開くごとに、絵とお話に自然とやさしい笑顔になり、心がポカポカあたたかくなる絵本です。絵本にも出てくる身近にいる小さな虫たちの姿が、子どもたちの好奇心や興味をかきたててくれます。どうぞ親子でお楽しみください。

今回は暑い夏にぴったりの「こかげで ほっ♪」の絵本を紹介します。絵本に出てくる虫たちが木陰を見つけてほっ♪としたり、子どもたちも木陰を探して、皆でほっ♪とする心も涼しくなる夏の絵本です。

ぜひ「こかげで ほっ♪」を読んで、暑い夏に涼しさを感じてみてください。

夏のこの1冊!





SUMMER INTERVIEW

「冰山ルリの大航海」 あすかわらべ 画家 飛鳥童先生

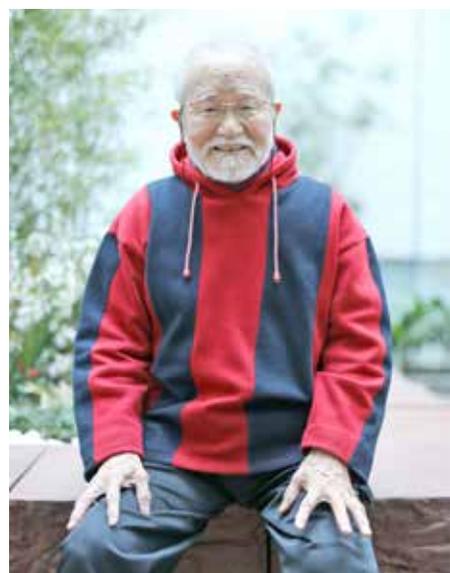
飛鳥童 History
「波瀾万丈伝」
製作：映画監督
今井龍二



夏といえば海。海といえば、多摩育児会では、園児によるミュージカルや卒園制作タペストリーでおなじみの「冰山ルリの大航海」を思い浮かべる子どもも多いかもしれません。今回はこの作品の絵本の挿画を描かれた、画家・絵本作家の飛鳥童先生にお話を聞きました。

Q: この作品が生まれたきっかけと、先生と多摩育児会との関わりについて教えてください。

飛鳥先生: 私は香川県高松市で生まれ、自動車会社でデザイナーとして働いた後に独立し、ヨーロッパへ渡りました。その後、カナダの広大な大自然と多様文化主義に魅了され1979年に移住、1982年に永住権を取得して以降、約40年カナダで絵画や絵本の創作活動をしてきました。「冰山ルリの大航海」の作者である高円宮妃久子



飛鳥童先生近影 (2023年2月)

殿下とは、1995年1月に伊勢丹新宿店で開催した個展で、初めてお会いしました。もともと自然環境や動物に深い関心をお持ちの宮様は、北極圏へのご旅行を通じ、大自然と人間との関わりにご興味を持たれており、この出会いがきっかけで宮様の文章に、私が挿画を描かせていただくことになりました。多摩育児会の先生方もこの個展で出会いました。またご縁を感じますが、多摩育児会で音楽講師をしている藤本和道先生が私の従兄弟なのです。

そして、1998年の「冰山ルリの大航海」の絵本が出版された翌年、藤本先生がミュージカル用にオリジナル楽曲を提供し、多摩育児会で年長さんによるミュージカル「冰山ルリの大航海」の上演が始まりました。園の卒業制作のタペストリーでも、毎年さまざまなシーンを子どもたちがフェルトで作品にしてくれています。

Q: 先生は、どんな方法で作品を描いていらっしゃるのですか。

飛鳥先生: 私の作品は油絵です。私は五感で感じたことを大切に絵を描いています。描いているうちにイメージが広がり作品になります。舞台の演出家に似ているかもしれません。実は子どもの頃は絵が嫌いでした。先生が私の絵を見て否定したからです。先生に習わず独学で感じるままに絵を描いてきたことが、今となっては良かったのかもしれませんね。

私は、しばらく自然を見つめじっくり観察してからスケッチをします。動物たちの生き生きとした表情を描きたくて、ケニアではテント生活をしました。虫の羽音、ジリジリと暑く照らす太陽、喉の乾き。モンスーンの風に乗って運ば

「冰山ルリの大航海」
作：高円宮妃久子殿下
絵：飛鳥童
出版社：講談社
発行日：1998.9.10
ISBN：9784062092340



飛鳥先生の作品や、波瀾万丈の人生についてもっと詳しく知りたいかたは、左のQRコードからyoutube動画をご覧いただけます。

れてくる草花の匂い。スケッチする時に、五感で感じるものがたくさんあるのです。「冰山ルリの大航海」の観察旅行では、北極で3週間極限状態で体力の限界までスケッチしました。

Q: 子育てに奮闘している皆さんへメッセージをお願いします。

飛鳥先生: 私は海外で約40年生活をしてきて、色んな子どもたちを見てきました。例えば、遊牧民族は家族単位で移動しているので、家族をととても大切にしています。欧米でも、夕食は家族や子どもとのコミュニケーションの時間として、会話を大切にしています。たとえば、会話中には、good、nice、excitingなど褒める単語が頻繁に出てきます。子どもとの会話を弾ませることを大事に、褒めるところから躰け、個性を伸ばしています。

日本はどうでしょうか。残念ながら日本では、核家族や共働きで、大人と子どもが家庭で接する時間も短いように感じます。勉強や習い事も大事ですが、家族とのコミュニケーションの時間を、もっと大切にしたいと思えます。

それから、カナダでの経験を踏まえてもう1つ。もっと自然に触れて欲しいですね。遠くへ行かなくても、花や蝶々、昆虫は、例えばすぐ近くの昭和公園でも出会うことができます。

子どもは好奇心のかたまりなので、よく質問してきますよね。彼らは遊びながらたくさん学んでいるのです。何かを聞かれた時は、ごまかしたりあしらったり、叱ったりするのではなく、きちんと相手になり、応(答)えること。子どもと接する時は、you and meの対等な信頼関係を築くことが、大切だと私は思います。

4コマエッセイ 日々是保育 ジョウロ

園のでできごとを多摩育児会の保育士が4コマまんがでお伝えします!



【連載】もっと知りたい!

「冰山ルリの大航海」

— 第2話 —

多摩育児会

「冰山ルリの大航海」

プロジェクト

飛鳥童先生との出会いがきっかけで始まった多摩育児会の「冰山ルリの大航海」プロジェクト。先生たちと園児たちが取り組んでいるこのプロジェクトについてご紹介します。

飛鳥童先生との交流



多摩保育園 創立50周年式典(1996年)の際に、飛鳥童先生に記念講演を依頼したことから交流が始まりました。

1999年「冰山ルリの大航海」出版以降、

たびたび飛鳥童先生をお招きし、子育て支援講演会や、子どもたちに向けたワークショップを開催しています。講演会では、「冰山ルリの大航海」のテーマである自然環境問題や、絵本の中に登場する動物のこゝろ、絵にまつわる隠された秘密など、魅力ある話を聞くことができます。ワークショップでは、子どもたちがその動物を描き、感じたことを発表したりと、楽しい表現の時間を過ごしています。2000年には多摩保育園で「冰山ルリの大航海」を題材にした作品展も開催しました。

卒園してからも、子どもたちが自分でこの絵本を読み、何かを感じ取って欲しいという想いから、各園の卒園記念品として「冰山ルリの大航海」をプレゼントしています。タイミングが良いと、飛鳥童先生直筆のサインを絵本に入れていただくこともあります。

making of ミュージカル

1999年にミュージカル「冰山ルリの大航海」の楽曲を藤本和道先生が作曲。同年、ミュージカル「冰山ルリの大航海」を立川市女性総合センターアムホールで初演。以降毎年、市民会館や園のホールで発表会を開いています。2005年からは、飛鳥童先生が発表会を鑑賞して下さる年もあります。



① 作品に親しむ

1. 絵本の導入 (ストーリーを覚える)
2. 音楽の導入 (ミュージカルの音楽を聞いて曲を覚える)
3. お話と音楽を合わせて聞く (イメージを感じ取り、みんなでその気持ち等を伝え合う)



② 読み込み、深掘りする

4. お話に出てくる国や赤道など地球儀を見ながら話を読み込み、理解を深める (絵本のストーリーを追って、「ここを通ったんじゃない?」と、友だちとルリのルートを考えながら、地球儀上で旅をイメージする)



③ 練習をはじめ

5. セリフの導入 (セリフを覚える)
6. テーマ曲をみんなで一緒に歌う
7. ふりつけを覚える
8. 役を決める
9. 役ごとのパート練習開始



④ 通し稽古～本番

10. 衣装をつけ通し稽古
11. 本番当日、緊張やわくわくした気持ちの中、園で育まれた成長した姿を保護者や先生たちにお披露目。一人ひとりの個性が輝く演技や歌声が会場に響き渡る

message

作曲を手がけた音楽講師 藤本和道先生より

ミュージカルは、一気に練習してできるものではありません。日頃の少しずつの積み重ねが大切です。子どもたちには、作品作りを通じて、それぞれの心に染み渡る自分の「冰山ルリの大航海」を昇華させて、一人一人の内面的なものをのびのびと演じて欲しいです。たくさん子どもたちに愛されることによって作品が多様な表現に膨らんでいくことを嬉しく感じています。

making of タペストリー

1997年から卒園制作として「タペストリー作り」を取り入れています。10年ほど前から、「冰山ルリの大航海」の絵本をテーマに、子どもたちが作りたいと感じたをワンシーン選んで作るようになりました。完成したタペストリーは園児や保護者が鑑賞できるように園のギャラリーに展示しています。



① 絵を決める、準備

1. どの絵をタペストリーにするかを決める
2. おりっこ(織り機)の準備をする
3. 縦糸をはる
4. 横糸の色を決めてフェルトの羊毛の色を選び、量を揃える



② 図案作り

5. 絵本をコピーして実際の大きさにして図案を作る
6. おりっこの枠に貼る (1人1枠、A5の大きさに30枚くらいにわける。自分の図柄の場所を担当する)



③ 織り始める

7. 織り始める
8. 織り上がったら、重さを測って均等の重さになるようにする
9. それぞれで分担して織った図柄を、縦横につなげて一枚のタペストリーにする



④ 仕上げる

10. ベースの一枚が完成したら縮絨を行う。乾かしたら、その上からフェルトを刺して、動物などのアイテムをつける
11. 額装して完成

gallery



多摩保育園 2014年



中神保育園 2020年



イコロ昭和の森 (左) 2018年 (右) 2020年